

北区中学生及び高校生のための

職業教育キャラバン事業

将来あらゆる分野の職業にチャレンジできるよう、様々な分野で活躍している講師を中学校・高等学校に派遣し、職業を選択した経緯、方法、仕事への情熱とやりがい、苦心などをお話しいただきます。お話を通して具体的で明確な職業イメージを持つことができるように実施し、職業選択の一つの参考となるような講座です。

令和4年度事業実績

(今年度の実施校は、7校です)

稲付中学校 5月9日(月) 鈴木 啓美 さん(フェアトレード)



<生徒の感想> (抜粋)

- ・洋服は年間新品が10億万枚が捨てられている。大量製造→大量消費→大量廃棄となっている。
- ・将来の夢を考えるとということは、自分が興味があってやってみたいことを探すということだと思った。
- ・私たちが当たり前だと思っている日常とは真逆の生活を送っている人々がいるんだと知って、私たちは何ができるのか少し考えた。

桐ヶ丘中学校 5月27日(金) 大塚 紀子 さん(鷹匠)



<生徒の感想> (抜粋)

- ・「できない」「向いてない」じゃなくて「やりたい」「してみたい」で夢を追いかけてみたいと思った。
- ・ライフワークを見つけたいとおもった。自分が好きなことでも嫌いなことでもいろいろなことに挑戦してみたいと思った。
- ・人生いつ夢が見つかるかわからないので、一日一日の努力を大切に過ごしていきたいと思った。

堀船中学校 6月14日(火) 篠原 奈緒子 さん(デザイナー)



<生徒の感想> (抜粋)

- 自分の興味ある事に取り組む姿勢がカッコ良かったです。私がおまんせず、何事にも全力で取り組みたいと思った。
- やりたいことが何個もあったとき、「1つではなく全部をがんばってみてもいい」という言葉がひびきました。
- 夢には男女関係ないと教えてもらい、目標に自信がもてました。
- 私も男女関係なく仕事を見つけ、楽しみたいです。

桐ヶ丘高等学校 6月17日(金) 鈴木 啓美 さん(フェアトレード)



<生徒の感想> (抜粋)

- 貧困問題と環境問題をビジネスのしくみで解決する活動が印象的だった。
- 小学校の頃いじめを受けて辛かった。過去ばかり気にして今を楽しめなかったけど、今を思いっきり楽しんで、やりたいことをやろうと思った。
- 自分の考えを持つことで、見えなくなる世界もあるのだと気付い

浮間学校 9月2日(金) 郡司 芽久 さん(研究者)



<生徒の感想> (抜粋)

- 大学は何のために通うのかがわかりました。
- 自分が好きなこと、やりたいことを考え、進路を決めたいと思った。
- 「限られた職業だけでなく、新しい職業を作ってもいい」この言葉はまさしく目からウロコでした。
- まだ夢を決められていない私ですが、「好きなことを仕事に」という言葉が心に残っています。

浮間中学校 11月12日（土） 小田嶋 良 さん（パイロット）



<生徒の感想>（抜粋）

- やらないで出来ないより、やって出来なかった方がいいという言葉が印象的でした。
- 目標は一つだけではなくたくさんあっていいことを学んだ。
- 夢に向けて何度も試験などにも落ちたけど、諦めずに何度も挑戦したことを学んだ。
- 後悔しない方の道に進めばいいよという言葉は心に残りました。

明桜中学校 1月20日（金） 宮本 二史子 さん（消防士） 予定



<生徒の感想>（抜粋）

- 何度失敗しても、諦めない気持ちで何度も挑戦していれば結果は付いてくると思った。
- 私がやりたい仕事も、消防士のように。男性が多い仕事だが、宮本さんのように頑張ってもっと女性が輝ける仕事をしてみたい。
- 消防士のように裏で渡井たちの生活を支えてくれる人がいることを知り、「働く」ことは必ず誰かの役に立てなくてはならないと思った。